

2004年度 定期総会報告

5月15日(土)午後7時から、田無総合福祉センターにおいて、西東京市学童クラブ連絡協議会の定期総会が開催されました。学童クラブの児童数に応じ各父母会から選出された代議員により、無事定足数を満たし、総会は成立しました。

議長には、けやき学童クラブの佐藤さんが選出され、活動報告、決算と順調に審議され、承認されました。昨年度の活動報告の中では特に、

「西原北学童クラブ」の「けやき第二学童クラブ」としての存続決定

しょうがい児の全員希望学童クラブへの入所の実現

指導員の雇用期限(5年)の撤廃に向け、まずは合併時からのカウントに統一

会長の意見集約のための会長会の開催

といったところが強調されました。

引き続き、今年度の活動方針案と会則改定案と予算案が説明され、活発な審議の後、賛成多数で承認されました。主なものは以下のとおりです。

子どもたちが安心して通える学童クラブの実現に向け昨年度の成果を踏まえた活動

特に学童クラブの民間委託の動きを視野に入れた「学童クラブ運営研究会」発足

連協は父母会が連絡・協議する場であることを明確にする会則改定

民間委託への変化が予想され研究費が必要である等により父母会分担会費の新設

最後に役員選出があり、ほとんどが立候補で決まりました。また、事務局員にも多くの方が立候補してくれました。

末筆ですが、前年度の役員、事務局員、各学童の連協担当の方々、おつかれさまでした。また新年度の役員、事務局員、各学童の連協担当の方々、よろしくお願いします。

児童課訪問報告

総会が無事終わった5月21日、会長、副会長2名、事務局長の計4名で、児童課の中山課長、金谷係長のところへあいさつに行ってきました。

総会の報告や役員自己紹介のあと、今年度児童課の主要な取り組みについて伺うとともに、意見交換をしました。

児童課からは、「本町第二」「東」「西原」「住吉」「向台分室」で施設整備等について事務が進んでいること、夏季限定入所の制度をはじめること、学童のあり方を検討する委員を公募するので積極的に応募してほしいこと、子どもまつりは前年度なみに支援すること、などが話されました。

その後、昨年度開催できなかった市長との懇談会を今年度はぜひ開催したいということや、育成料や民営化も議題となることが予定される審議会等の構成メンバーに連協をきちっと位置づけていないことなど、気になることについて話し合いましたが、連協を当事者団体と位置づけられないようで、平行線で終わりました。学童クラブの制度が大きく変化しそうな時期にあって、当事者の意向が適切に施策に反映されるようさまざまな働きかけを市にしていかないと、結果だけ子どもや保護者に背負わされそうな予感がしました。

(文責：中曽根)

< 総会資料の訂正箇所 >

先日お配りした総会資料に下記の誤記がございました。申し訳ございません。ご訂正をお願い致します。

- P3 . 上から 13 行目 協力学童の欄に、ひばりが丘北、東伏見第二を追加
 P4 . " 1 行目 2002 年度 2003 年度
 P4 . 下から 5 行目 (小平) (小金井)
 P5 . 上から 21 行目 研究会費備考欄に、父母会ハンドブックを追加
 P5 . 上から 30 行目 会計監査実施日 平成 16 年 4 月 25 日
 P17 . 上から 18 行目 総会資料印刷費備考欄の 16、17 年度分 17、18 年度分
 P20 . 上から 11 行目 けやき学童クラブの住所 芝久保町 5 - 7 - 1

新役員・事務局員 (敬称略)**役員**

【会長】中曽根 (向台) 【副会長】森 (保谷柳沢) 伊藤 (北芝久保)
 【会計】浅沼 (けやき第二) 織茂 (けやき) 【会計監査】高木 (ひばりが丘) 菅 (田無)

事務局

【事務局長】溝端 (住吉)
 【事務局員】松本 (田無OB) 菊池 (保谷柳沢OB) 宮下 (けやき) 坂口 (保谷柳沢)
 河野 (けやき第二) 古谷 (中町OB) 土屋 (下保谷) 井口 (保谷柳沢OB)
 佐藤 (けやき)

新役員自己紹介コーナー その1

会長 中曽根 聡 (向台学童クラブ)

保育園のころと比べ学童のおやつは袋菓子ばかりでとんでもない。成長期の子どもにあった内容にならないのか。という疑問を持ったのが 8 年前。連協に関わるきっかけでした。みなさんの知恵や様々な思いが活発に飛び交う会になればと楽しみにしています。

副会長 伊藤 由加里 (北芝久保学童クラブ)

学童クラブの形態は近隣の市や都区内を見ると大きく変化してきており、西東京市でも他人事ではありません。今年度は、民間委託やあそびの学校等も含めて学童クラブのあり方について学習会を企画する予定です。皆さんも参加して情報交換をしながら一緒に考えていきましょう。一年間頑張りますのでよろしくお願い致します。

会計 浅沼 裕美 (けやき第二学童クラブ) 織茂 ゆかり (けやき学童クラブ)

小学校は同じけやき小の二人です。力を合わせてがんばります。

紙面の都合により、副会長の森さんと、事務局長の溝端さんの自己紹介は次回に掲載致します。

第4回 学童めぐり

今年で4回をかぞえ、やっと、市内全てのクラブをまわりまわることが出来ます。
開催の目的は他クラブを見ることにより、自クラブの改善点がわかり
見てもらう側は、アドバイスをもらうことができるというところにあります。
各父母会が自他クラブの現状を把握するためにも多くの方々の参加をお待ちしております。
詳しくは別紙チラシをご覧ください。

学童保育のただ一つの総合誌『日本の学童ほいく』を購読しよう！

『日本の学童ほいく』誌は、全国の学童保育の親と指導員とでつくっている月刊誌です。働きながら子育てをする親の大変さ、喜びが率直に語られています。一人ひとりが違う子どもたち、その一人ひとりがみんな安心して生活できるように、厳しい労働条件の中様々な努力や工夫を続けている指導員の思いや実践も率直に綴られています。「子どもクイズらんど」「子どものひろば」など子どもたちも楽しめるコーナーや、全国各地の学童保育の状況や運動の成果・課題が分かるコーナーもあります。専門家の講座も分かりやすい言葉で書かれています。

学童保育は今、「大規模化」「待機児の増加」など様々な問題を抱えています。国の福祉施策の大転換の中、今後はさらなる激動が予想されます。すでに23区の学童保育では、「民間委託」「全児童対策への統合」などの動きが活発になっていますが、多摩地域でも一部ではすでに始まり、さらに広がっていくことは確実です。西東京市でも「民間委託」の方向が打ち出されています。

こうした中、みんなで『日本の学童ほいく』を購読し、みんなで「学童保育って何?」「学童保育はどうあってほしい?」を考え、確認し合いましょう! 『日本の学童ほいく』は月330円、1年間購読しても3960円です。購読申し込みは常時受け付けていますが、バックナンバーをすぐにお届けできますので、できるだけ年間購読をお願いしています。

「日本の学童ほいく」誌の購読申込と購読料の支払いについて(確認)

購読の申込時に、当年度分の購読料を添えてお申込みください。

購読申込および購読料は、各学童クラブ父母会ごとに集計して、定例会の際にご提出ください。

旧保谷地区では、振込用紙による振込み方式でしたが、今年度より支払い方式を統一します。

既に申し込まれた方でまだ購読料をお支払いいただけていない方は、なるべく早くお支払いください。

ご協力よろしくお願い致します。

編集後記

今年度は連協ニュースの編集を事務局長が行うことになりました。1年間頑張ります。不慣れなので、読みにくい、わかりにくい等ご意見をぜひお寄せいただきたく存じます。(溝端)

発行：西東京市学童クラブ連絡協議会

発行者：中曽根 聡

編集員：森、伊藤、溝端、浅沼、織茂、河野、古谷、加々見、菊池、松本

西東京市学童クラブ連絡協議会ホームページ：<http://www.tonpo.net/gakudou/>

メーリングリストもあります！ 加入ご希望の方は、連協定例会に出席される方を通じてお申込みください。ホームページからもお申し込みいただけます。